

## 一緒の時間

校長 川村 尚史

本日、1学期の終業式を迎えました。大きな事故もなく、無事に1学期を終えられるのも、保護者や地域の皆様のご理解、ご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。

さて、明日から夏休みです。子どもたちには、「火・水・車」の事故に遭わないよう十分に気を付けながら、時間を有効に使って、充実した日々を過ごしてほしいと思います。

夏休みにあたり、保護者の皆様をお願いしたいのが、普段以上にお子さんとたくさん関わってほしいということです。一緒にラジオ体操に参加する、一緒に料理をする、一緒に買い物に行く、一緒に本を読む等、お子さんと共に過ごす時間を大切に、お子さんの話に耳を傾けてほしいと思います。一緒に考えたり、笑ったり、感動したりする経験は、子どもの自信につながり、心も安定します。子どもの成長には欠かせないものだと考えます。

私自身、二人の子の父親として、子どもと一緒に過ごす時間を大切にするように努めてきました。その意識を強くもつようになったのは、アメリカの能力開発研究家、デニス・ウェイトリーの詩に出会ったからです。ここに、その詩を紹介します。

## 子どもの話に耳を傾けよう

きょう、少し

あなたの子どもの言おうとしていることに耳を傾けよう。

きょう、聞いてあげよう、あなたがどんなに忙しくても。

さもないと、いつか子どもはあなたの話を聞こうとしなくなる。

子どもの悩みや要求を聞いてあげよう。

どんなに些細な勝利の話も、どんなにささやかな行いもほめてあげよう。

おしゃべりを我慢して聞き、いっしょに大笑いしてあげよう。

子どもに何があったのか、何を求めているかを見つけてあげよう。

そして言ってあげよう、愛していると。每晚每晚。

叱ったあとは必ず抱きしめてやり、「大丈夫だ」と言ってやろう。

子どもの悪い点ばかりあげつらっていると、

そうやってほしくないような人間になってしまう。

だが、同じ家族の一員なのが誇らしいと言ってやれば、

子どもは自分を成功者だと思って育つ。

きょう、少し

あなたの子どもの言おうとしていることに耳を傾けよう。

きょう、聞いてあげよう、あなたがどんなに忙しくても。

そうすれば、子どももあなたの話を聞きに戻ってくるだろう。

子どもたちがたっぷりと心を充電できる夏休みになること、そして、8月30日（金）には、子どもたちの笑顔があふれる2学期の始業式を迎えられることを願っています。